

The Source of Our Livability:
A Tale of Spring Water

The Kakita River, Which Brings Our Town to Life

Water gushing from the riverbed of the Kakita River causes the sand to swirl about, and the Mishima Baikamo, an aquatic plant that is also a Natural Treasure, sways in the river's current. Dozens of springs upstream create a combined flow of approximately 1.3 million tons of water per day.

About 10,000 years ago, the Mishima Lava Flow, which flowed following an eruption of Mt. Fuji, formed a stratum that allows water to pass through easily. The rain and snow that fall on Mt. Fuji and other areas become groundwater, which then emerges from the gaps in the lava flow as spring water. It is said that it takes 26 to 28 years for groundwater to flow up into the Kakita River.

This cool and clear spring water nurtures the history of Shimizu Town, creating a story that leads us to the future.

水湧き出る物語

くらしやすさの源

まちを潤す 柿田川

川床から湧き出す水に砂が舞い踊り、透き通った流れに天然記念物のミシマバイカモが優しく揺れます。柿田川の上流にある数十カ所の湧き間からは、日量約130万トンの湧水があります。

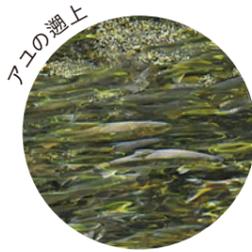
1万年ほど前、富士山の噴火により流れた溶岩は「三島溶岩流」と呼ばれ、水を通しやすい多孔質の層を形成しました。富士山などに降った雨や雪が地下水となつて流下し、溶岩流の隙間から地表に湧き水となつて現れているのです。地下水が柿田川に湧き出すまでの期間は、26〜28年とも言われています。

悠久の大地に洗われた清涼な水は、今この時も清水町の歴史を育み、未来へつなげる物語をつくっています。



湧き出る水物語

環境



かがやく水が織りなす自然



柿田川や丸池、本城山は、地質や地形のなりたちがある「ジオサイト」として、貴重な学びの場となっています。

水辺では、桜や紅葉が織りなす風景や、気風（けあらし）と呼ばれる神秘的な自然現象など、四季折々の表情を見ることができます。

も知られ、希少種のホトケドジョウが生息しています。また、毎年たくさんのアユが遡上する光景も目にすることができます。

豊かな自然や貴重な生態系、豊富な水源。身近にある貴重な自然にふれあい、未来へつなぐと。それは清水町にくらす私たちの大切な役目なのかもしれません。

Environment: Nature Woven with Shimmering Water

The Kakita River, Maru Pond, and Mt. Honjo are valuable learning opportunities as geo-sites. The waterfront area offers seasonal changes in scenery, from cherry blossoms to autumn foliage, and fog that forms along the river called kearashi. It is also known as a habitat for rare plants and animals. There is great meaning in connecting our bonds with the rich nature, precious ecosystems, and abundant water sources to the future. This role is very important for all of us who live in Shimizu Town.

Interview 清水小学校6年生 酒村 晴妃さん

Shimizu Elementary School 6th graders Sakamura Haruhi



清水小学校教材園
Study garden at Shimizu Elementary School
清水小学校の西側、柿田川のほとりにあります。天然記念物でもある柿田川の自然に触れられる貴重な場です。

コロナ禍になる前は、休み時間によく教材園で遊んでいました。教材園の水深は浅いので、低学年でも入ることができます。珍しくカブトムシがいたことがあって、クラスのみんなで飼育をしたことが印象に残っています。

また、5年生の時にSDGsに関する授業をしたのですが、川や道にゴミがたくさん落ちていたよ、という意見が一番多くあがっていました。この授業を通して、自分のゴミは持ち帰ってきちんと捨てようと思いましたが、私たちだけではなくて、大人の皆さんも一緒に気をつけてもらいたいなと感じました。

授業や体験を通して、清水町の環境について学んでいます。



春

Spring



丸池の散策路からは、桜並木と富士山の絶景を見ることが出来ます。龍泉寺や本城山公園の桜もまちの春を代表する風景です。

水景色

フォトギャラリー

陽光、空気、息づく動植物たちが、刻一刻と変化する。水辺の風景を見つめます。

Photo Gallery: The Changing Water Scenery
Sunlight, air, and the plants and animals that live among them. Gaze upon the ever-changing waterside landscape.

夏

Summer



木々の緑と川床が見えるほど透き通った水の流れ、せせらぎの音も訪れる人の心を癒します。柿田川公園では清涼な夏の風景を楽しめます。



秋

Autumn



優しい風に揺れるすすきの穂、色づく木々の葉が、水辺の風景を、さらに美しく彩る季節です。遡上するアユも、晩秋の風物詩となっています。



冬

Winter

雪をいただく富士、柿田川の水面からは湯気のように霧が立ちのぼります。冷え込みが強まった風が穏やかな冬の日に見られる幻想的な光景です。

- 1 丸池の桜
Maru Pond and cherry blossoms
- 2 徳倉橋と桜
Tokura Bridge and cherry blossoms
- 3 柿田川公園湧き間
Kakita River Park spring
- 4 狩野川ふれあい広場
Kanogawa Fureai Park
- 5 柿田橋付近
Kakita Bridge vicinity
- 6 気風
Kearashi

湧き出る水物語

くらし文化



子どもたちによる米の収穫
Children harvesting rice

子どもたちが米作りを通して、郷土の豊かな水と自然への関心を高めています。収穫する米は清水町の湧水を使って育てられます。

丸池 Maru Pond

周辺地域に農業用水をかんがいするためにつくられたため池です。三島市の清住緑地に隣接しています。公園として整備され、湧水を水源とするテニスコート約1面分の親水池があります。



Living & Culture: Life Coexisting with Water

People have lived in the Kakita River area since the Jomon and Yayoi periods thousands of years ago. In the Warring States Period in the 15th and 16th centuries, Izumigashira Castle was built by feudal lord Hojo Ujimasa, and the Kakita River was used as a natural moat to protect the castle. From the Meiji Era (1868-1912) onward, the development of water pumping technology made it possible to use water from the Kakita River for industrial, domestic, and agricultural purposes. Today, the river is the source of drinking water for the eastern region of Shizuoka Prefecture.



清水町の水道水 Shimizu Town's tap water

清水町の水道水には、名水百選にも選ばれている柿田川の湧水が使用されています。柿田川公園に隣接する湧水の道(民間施設)には水汲み場も設置されており、訪れた方も味わうことができます。

生まれも育ちも清水町です！
落ち着いて住みやすいし、
水はやっぱり美味しいですね。
綱島さん親子



2年前に移住しました。
生活に必要なもの全てが
小さなまちにそろっています！
國井さん親子

縄文・弥生時代から柿田川周辺では人々が生活してきました。発見された土器片などから先人のくらしの痕跡を見ることが出来ます。戦国時代には、北条氏政により『泉頭城』が築かれ、柿田川は城を守る自然の堀として利用されました。
揚水技術の発達によって川の水が工業用水や生活用水、農業用水として利用されるようになるのは明治以降のことです。現在柿田川の水は、静岡県東部地域、3市2町の給水区域で飲料水として利用されています。
地域のくらしを支え、文化を育み続けてきた柿田川。このかけがえのない恵みに感謝しつつ、清水町の物語がこれからも紡がれていきます。

水とともにあるくらし

湧水まつり Spring Water Festival

地域や各種団体と力を合わせ、夏まつりを実施しています。郷土への誇りや愛着を高め、地域のにぎわい創出につなげます。フィナーレを飾るのは、大迫力の手筒花火です。



他にもまだある！



うなぎ Eel



ところん Tokoroten (gelidium jelly)

麹 Koji mold



稲穂の色が特徴的な濃い紫色。脱穀するとほのかな緑色です。湧水が育んだミネラル豊富なお米です。



緑米 Green rice

緑米

温暖な気候で豊かな水源に恵まれた清水町では、江戸時代から麹づくりが営まれてきました。現在でも昔ながらの製法が受け継がれています。

物は水から始まる

A story that begins with water